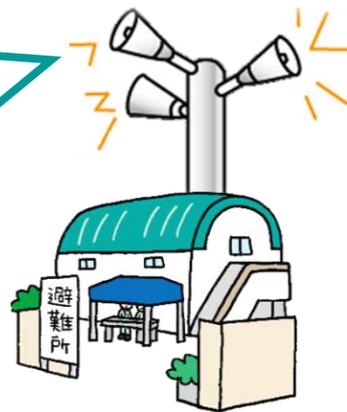


めいしん四季伝

株式会社めいしんグループ 2025年 9月 5日 発行



9月1日は 防災の日



先日の9月1日は「防災の日」でした。防災の日とは、1960年に定められた災害に対する啓発日です。台風や地震、津波などの災害に対して、国民が認識を深めて、心構えを備えるために制定されました。今回は、普段の生活の中でできる備えについてご紹介します。

◆コツコツ防災

無理のない範囲で「コツコツ」行えば、費用や時間、精神的な負担もかからず続けることができます。例えば、飛散防止フィルムを毎月購入し、今月は食器棚のガラス、来月はリビングの窓ガラスというように順番に貼っていけば、最終的に家中のガラス対策ができることとなります。

◆ついでに防災

掃除や買い物など何かの「ついで」に防災を意識してみましよう。

- ・掃除で家具を移動させるついでに、安全な場所に配置換えをする
- ・家具の上のほこりを取ったついでに、固定器具を取り付ける
- ・スーパーで買い物するついでに、災害用の飲料水や食糧を買う

◆ハザードマップを確認する

ハザードマップを見れば、自分が住んでいる地域がどれくらい揺れるのか、火災の延焼危険度、液状化・津波・土砂災害・洪水などの危険度がわかります。大雨や地震など、現象によって避難経路が異なるかも調べましよう。ハザードマップは紙媒体もありますが、

ネットで調べれば複数被害の重ね合わせ表示で見ることができます。

◆行動を決める

災害が起きた時、とっさの判断は難しいものです。事前に建物の耐震性や二次災害の危険が高い場所を調べておくことで、すばやく安全な場所へ避難できます。また、家族と離れている場合でも、確実に会えるよう「〇〇学校の鉄棒の前」など、具体的な待ち合わせ場所や時間を決めておきましょう。決めた内容を紙に書き、常に持ち歩くのもお勧めです。

◆連絡手段を複数決める

携帯電話各社の災害用伝言板、NTT の災害用伝言ダイヤル 171、SNS など、さまざまなツールでの連絡手段を確保しましょう。家族の携帯番号や SNS のログイン情報も紙に書き記せば、携帯電話が使えなくなったときも安心です。

災害時のことを予測し、それに対してしっかり対策を行うことで、被害を最小限にとどめられます。「あの時やっておけばよかった」と後悔する前に、是非できることから始めてみて下さい。

ご意見・ご質問等ありましたら、担当者までお問い合わせ下さい。



株式会社めいしんグループ
MEISHIN-GROUP CO.,LTD

 0120-205-480 (受付時間 8:00 ~ 17:00)

TEL:052-950-3220 FAX:052-950-3221

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-2-7 錦センタービル9階